

婚礼の夜、花嫁は忽然と姿を消した――。

半世紀後、村を訪れた新たな花嫁は”何か”の気配を感じ始める。

「ヤツらに気をつけなさい」

どこからともなく聞こえてくる歌声、赤い扉に怯える老婆。

得体の知れない恐怖が再び花嫁を襲い

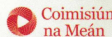
・・・そして、消えた――。

フレワカ
FRÉWAKA

Locarno Film Festival
FUORI CONCORSO
OFFICIAL SELECTION

A DOUBLEBAND FILMS WILDCARD PRODUCTION OF. FRÉWAKA. FOR CINE4 WITH THE SUPPORT OF SCREEN IRELAND & COIMISIÚN NA MEÁN
DOUBLEBAND FILMS IN ASSOCIATION WITH WILDCARD AND FAIRY TREE FILMS

CAST BRID NÍ NEACHTAIN. CLARE MONNELLY. ALEXANDRA BYSTRZYTTSKAYA. OLGA WENKLY. AND REIDRE DUFFY. GRACE COLLENDER. TAKA BREATHNACH. MÍCHEÁL ÓG LANE. OISÍN Ó MAOLIOIN. DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY
NARAYAN VAN MAELE. EDITOR JOHN MURPHY. ORIGINAL SCORE BY DIE HEXEN. PRODUCTION DESIGNER NICOLA MORONEY. COSTUME DESIGNER ZJENA GLAMOCANIN. HAIR & MAKEUP DESIGNER BERNIE MCBRIDE. CASTING BY
MAUREEN HUGHES. EXECUTIVE PRODUCERS FOR TG4 MÁIRE NÍ CHOMHLÁIN DEIRBHILE NÍ CHURRAIGHÍN. EXECUTIVE PRODUCER FOR FIS ÉIREANN / SCREEN IRELAND GREG MARTIN. COIMISIÚN NA MEÁN, SOUND & VISION MANAGERS
PHILIP COOPER SARA MCNAMARA. ASSOCIATE PRODUCER KÓISÍN BROWNE. EXECUTIVE PRODUCER FOR DOUBLEBAND FILMS MICHAEL HEWITT. PRODUCED BY DIARMUID LAVERY & PATRICK O'NEILL. WRITTEN & DIRECTED BY AISLINN
CLARKE. Produced with the support of incentives for the Irish Film Industry provided by the Government of Ireland - FILMED ON LOCATION IN COOLEY PENINSULA, CO. LOUTH, IRELAND. © DoubleBand Films & Wildcard



監督・脚本:アシュリン・クラーク キャスト:クレア・モネリー、ブリッド・ニー・ニーチティン(『インシエル島の精霊』)
2024年/アイルランド/103分/カラー/スコープ/5.1ch/日本語字幕:高橋 彰/配給:ショウゲート

フレワカ
アイルランドの地に隠されたトラウマの根源を呼び覚ます
禁断の<ルーツ>ホラー、誕生

アイルランドの地におぞる食う 現実と虚構が入り混じる美しくも悍ましい“狂夢”

地中でうねうねと絡み合う太い根のように、決して断ち切れない“女性たちの痛み”を描く、アイルランド発のホラー『FRÉWAKA(フレワカ)』。どこか神秘的な響きを持つそのタイトルは、現地の言葉<fréamhacha(フレーヴァハ)>＝“根”>に由来し、アイルランド語を使用して紡がれる初のホラー作品となっている。

監督を務めたのは、自身もアイルランドにルーツを持つ新進気鋭の女性作家アシュリン・クラーク。緑豊かな美しい大地の上で受け継がれてきた民間伝承、ケルト神話に宿る“土着の祈り”と“呪い”を見事に現代的解釈で甦らせた本作は、映画批評家サイト「Rotten Tomatoes」でスコア96%(2025年11月20日時点)の高評価を獲得しているほか、第57回シッチェス・カタロニア国際映画祭や第77回ロカルノ国際映画祭など各国の名だたる映画祭でも上映され多くの人を魅了している。

赤く光る十字架、不穏の影を纏って現れるヤギ、蹄鉄で閉ざされた赤い扉、謎の祝祭。そして婚礼の夜になぜ花嫁は姿を消したのか――。

『ミッドサマー』に続く、
救いなきフォークホラーの注目作が、ついに日本上陸!

監督・脚本:アシュリン・クラーク(短編『子らも』THE DEVIL'S DOORWAY(原題))
キャスト:クレア・モネリー、ブリッド・ニー・ニーチティン(『イニシエリン島の精霊』)
2024年/アイルランド/103分/カラー/スコープ/5.1ch/日本語字幕・高橋 彩/  
© Fréwaka Films & Screen Market Research T/A Wildcard 2024. All rights reserved.
配給:ショウゲート 公式サイト:frewaka.jp 公式X:@showgate_horror

「内臓に響くような恐怖、
遊び心のあるユーモアの連続」 「ゾッとする悪夢のタネ」
—— The Film Verdict ——— Variety

「不気味!」
—— The Hollywood News

STORY

婚礼の夜、花嫁は忽然と姿を消した――。その半世紀後、アイルランドの人里離れた村に住む老婆の介護のため訪れた看護師のシュエは、閉ざされた村に漂う“何か”の気配を感じ始める。「ヤツらに気をつけなさい」と怯える老婆、どこからともなく聞こえてくる歌声、蹄鉄に囲まれた赤い扉、藁の被り物をした人々と謎の祝祭、そして掘り起こされていくこの地に伝わる古い記憶。徐々にシュエは見えない“恐怖”に呑み込まれていく――。

「いたずら心溢れるユーモアと
本物の恐怖が交錯する」
—— EYE FOR FILM

「愉快なほど陰険!」
—— Screen Daily

WAKE
HOUSE

2026.02.06.FRI ROADSHOW

ムビチケオンライン発売中

